

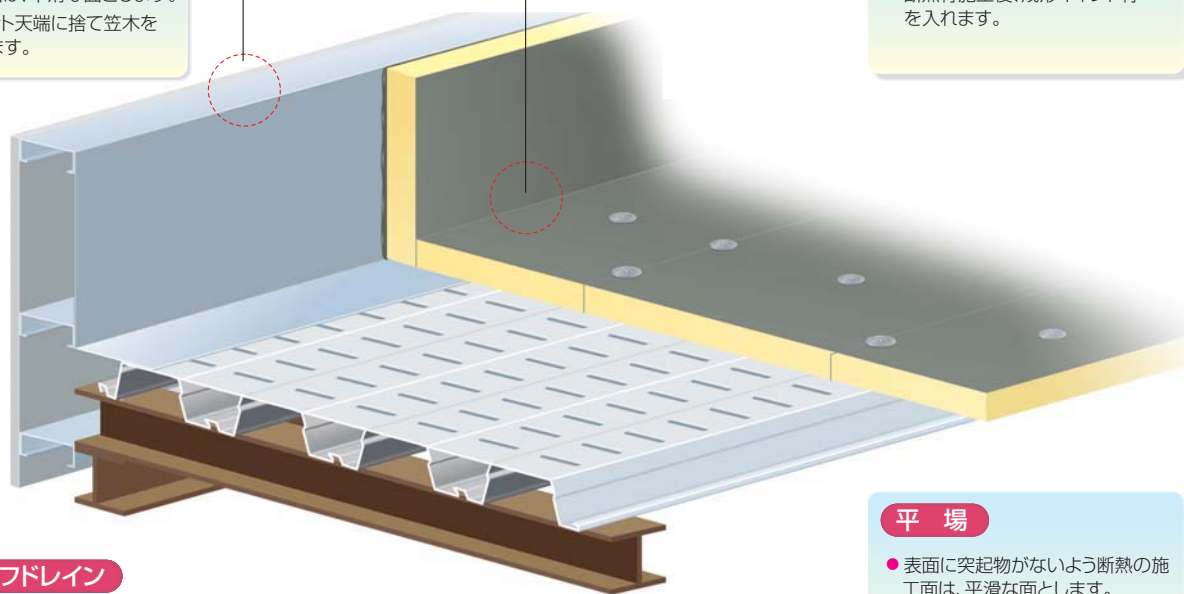
Sデッキ工法 下地のチェックポイント

立上り

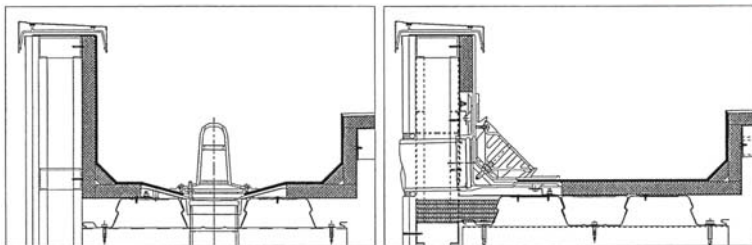
- 立上り面は、平滑な面とします。
- パラペット天端に捨て笠木を設置します。

入隅

- 断熱材施工後、成形キャスト材を入れます。



ルーフトレイン



排水

- ルーフトレインの排水分担面積は、十分に余裕を持たせます。
- 本体受皿は、デッキ面より10mm以上下げます。
- 縦型トレイン設置位置は、立上りより300mm程度離して取り付けます。

平場

- 表面に突起物がないよう断熱の施工面は、平滑な面とします。
- 側溝を設置します。
- 下地は、十分に乾燥させます。

勾配

- 必ずデッキでとります。
- 勾配は、1/50程度とします。

■ チェックポイント

- 1 勾配は規定通りになっているか、水溜り部分がないか。
- 2 表面に突起物はないか。
- 3 出入隅部分の形状は、規定通りになっているか。
- 4 ルーフトレインの取り付け位置は適切か。
- 5 下地の乾燥は充分か。